



## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2023 年 第 2 週（1月9日~1月15日）

## &lt; 全数把握対象疾患の患者情報 &gt;

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症 E 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
レジオネラ症	3 人 病型 肺炎型 3 人
五類感染症 急性脳炎	2 人 病原体 新型コロナウイルス 1 人 不明 1 人
クロイツフェルト・ヤコブ病	1 人 病型 孤発性
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 人 血清群 B 群
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
梅毒	7 人 病型 早期顕症 期 5 人、 早期顕症 期 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
百日咳	1 人 年齢階級 20 歳代

新型コロナウイルス感染症については、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」

(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>) 内の「陽性確認者」を参照してください。

## &lt; 定点把握対象疾患の患者情報 &gt;

小児科及び内科定点把握対象疾患では、インフルエンザ(4.32 5.01 : 図 1-1,2)の定点当たり報告数は、前週よりやや増加した。保健所別では、南部(6.29 9.29)保健所管内で大きく増加し、草加(8.05)保健所管内からの報告が多い。感染性胃腸炎(5.61 9.19: 図 2)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、川口市(8.42 18.77)保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、1 歳及び 2 歳の報告が多い。

眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 4 人、流行性角結膜炎 6 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、細菌性髄膜炎 1 人、無菌性髄膜炎 2 人、インフルエンザ(入院)5 人の報告があった。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL:

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idschtml>) で御覧になれます。

< インフルエンザ流行情報（第2週） - 小児科定点・内科定点からの報告 - >

図1-1 定点当たり報告数の推移

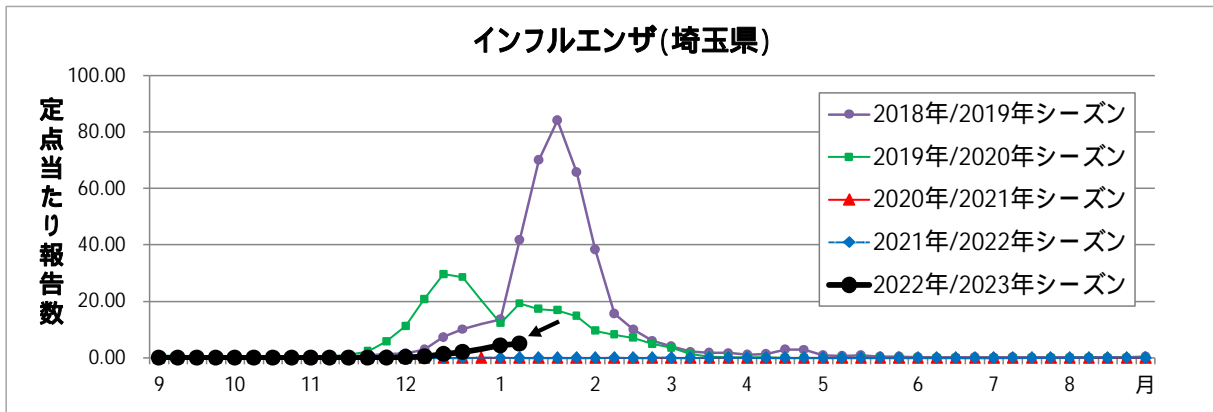
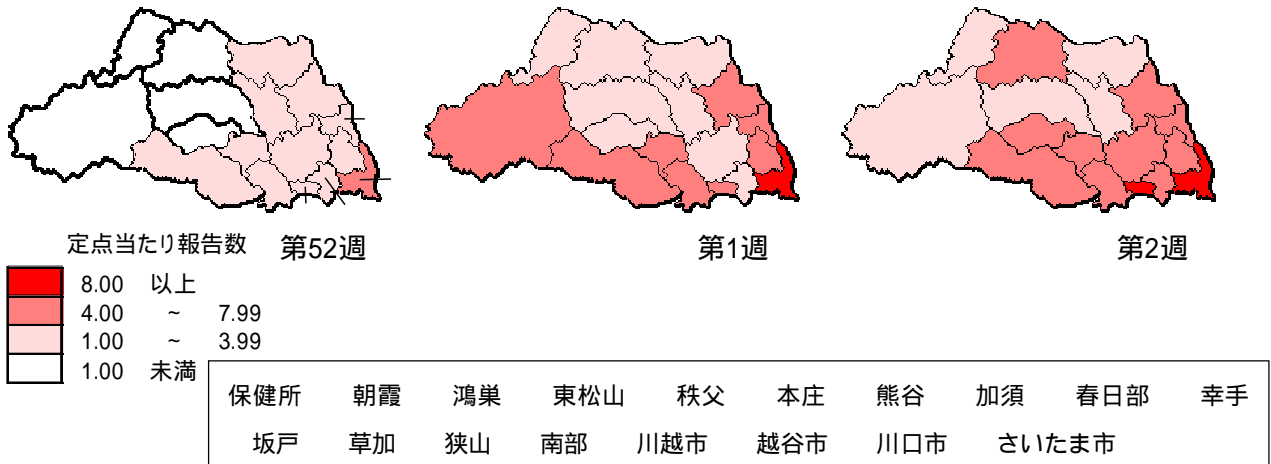
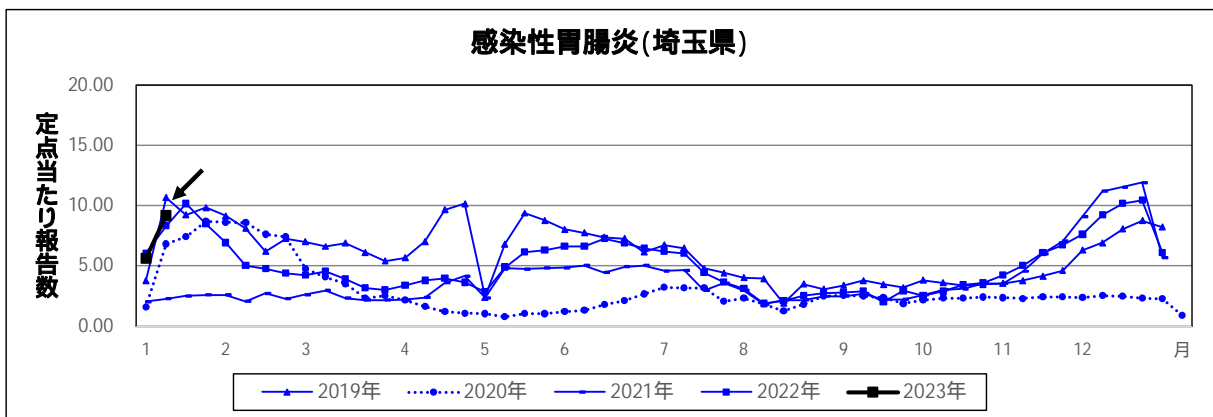


図1-2 保健所別流行状況の推移（第52週～第2週）



< 今週の注目される定点把握対象疾患の推移 >

図2 感染性胃腸炎



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第2週)

(2023年1月17日 15:30集計)

	今週 届出	累 計	2022年 累計		今週 届出	累 計	2022年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ベスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核 * 1	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ				腸チフス			1
細菌性赤痢		1		パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症			145				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎	1	2	35	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎			3	ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			
黄熱				日本脳炎			
オウム病			1	ハンタウイルス肺症候群			
オムスク出血熱				Bウイルス病			
回帰熱				鼻疽			
キャサナル森林病				ブルセラ症			
Q熱				ベネズエラウマ脳炎			
狂犬病				ヘンドラウイルス感染症			
コクシジオイデス症				発しんチフス			
サル痘				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			1
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	3	3	96
つつが虫病				レプトスピラ症			
デング熱			2	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢		1	24	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	47
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)			6	水痘(入院例に限る)			11
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			72	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			1	梅毒	7	11	467
急性脳炎	2	2	35	播種性クリプトコックス症			10
クリプトスポリジウム症				破傷風			3
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	7	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	41	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1
後天性免疫不全症候群		1	27	百日咳	1	2	14
ジアルジア症				風しん			2
侵襲性インフルエンザ菌感染症			4	麻しん			
侵襲性髄膜炎菌感染症			1	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症 * 2						

累計は診断日で集計

\* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

\* 2 県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の県内の発生状況」(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/covid19/jokyo.html>)内の「陽性確認者」を参照してください。

## 結核届出状況(2022年12月分)

2022年12月の届出総数は、患者33人、無症状病原体保有者13人の計46人であった。前月と比べると患者数、無症状病原体保有者数ともに減少した。前年同月との比較においても患者数、無症状病原体保有者数ともに大きく減少した。

表1 診断月別の届出数の推移(2021年12月～2022年12月)

	2021年		2022年												累計*
	12月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
<b>総計</b>	80		67	49	78	64	72	65	68	62	60	64	59	46	754
<b>年齢階級</b>															
10歳未満	3		1	2	2	3	3	2	1	2	2	2	0	1	21
10歳代	1		2	0	0	0	3	1	1	1	2	2	0	1	13
20歳代	3		4	2	6	2	3	7	3	4	0	7	3	3	44
30歳代	6		6	2	1	1	5	8	4	3	4	4	5	3	46
40歳代	10		8	6	10	7	8	8	4	5	4	4	3	1	68
50歳代	8		4	6	5	9	11	5	5	4	6	8	9	9	81
60歳代	8		7	2	10	3	1	8	9	10	6	6	6	2	70
70歳代	19		19	11	18	14	17	9	15	16	12	14	14	12	171
80歳以上	22		16	18	26	25	21	17	26	17	24	17	19	14	240
<b>性</b>															
男	45		36	26	49	36	40	42	37	37	28	41	39	34	445
女	35		31	23	29	28	32	23	31	25	32	23	20	12	309
<b>類型</b>															
患者	51		43	28	61	46	42	46	44	46	45	41	40	33	515
感染症死亡者の死体	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無症状病原体保有者	29		23	21	17	18	30	19	24	16	15	23	19	13	238
<b>病型</b>															
肺結核	33		33	19	49	30	30	31	26	30	31	28	28	28	363
肺結核及びその他の結核	6		4	1	3	5	5	3	3	6	6	6	3	0	45
その他の結核	12		6	8	9	11	7	12	15	10	8	7	9	5	107
疑似症患者	0		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無症状病原体保有者	29		23	21	17	18	30	19	24	16	15	23	19	13	238

\*:2022年1月からの累積届出数

12月に診断された46人を病型別にみると、肺結核は10歳代以上の年齢階級から計28人の報告があり、70歳代以上が16人で57%を占めた。無症状病原体保有者は10歳代及び40歳代を除く年齢階級から報告があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2022年12月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体 保有者	
<b>総計</b>	28	0	5	0	13	46
<b>年齢階級</b>						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	1	0	0	0	0	1
20歳代	2	0	0	0	1	3
30歳代	1	0	1	0	1	3
40歳代	1	0	0	0	0	1
50歳代	6	0	1	0	2	9
60歳代	1	0	0	0	1	2
70歳代	9	0	0	0	3	12
80歳以上	7	0	3	0	4	14

		感染症発生状況(定点把握対象疾患)					報告患者数		保健所別					(2023年第2週 1月9日～1月15日)						
保	健 所	インフルエンザ	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ(入院)
		#1																		
全 県	報告数	1,277	9	10	36	1,471	13	6	1	41	1	1	4	6	1	2	-	-	-	5
	定点当たり	5.01	0.06	0.06	0.23	9.19	0.08	0.04	0.01	0.26	0.01	0.01	0.10	0.15	0.09	0.18	-	-	-	0.45
朝 霞	報告数	112	2	-	4	153	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	4.87	0.13	-	0.27	10.20	0.20	0.07	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鴻 巣	報告数	49	1	1	-	136	1	-	1	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	2.58	0.08	0.08	-	11.33	0.08	-	0.08	0.17	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	24	-	1	1	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	3.00	-	0.20	0.20	7.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数	8	-	-	-	2	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	1.60	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	9	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	1.29	-	-	-	1.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数	56	2	-	1	104	1	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	4.31	0.25	-	0.13	13.00	0.13	-	-	0.38	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-
加 須	報告数	37	-	-	1	13	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	3.70	-	-	0.17	2.17	-	-	-	0.83	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
春 日 部	報告数	66	1	1	2	71	-	1	-	3	1	-	-	-	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	6.60	0.17	0.17	0.33	11.83	-	0.17	-	0.50	0.17	-	-	-	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	78	2	4	-	68	3	-	-	3	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	5.57	0.22	0.44	-	7.56	0.33	-	-	0.33	-	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	49	-	-	1	55	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	定点当たり	4.90	-	-	0.17	9.17	0.17	-	-	0.17	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	1.00
草 加	報告数	153	-	-	1	96	3	-	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	8.05	-	-	0.08	8.00	0.25	-	-	0.17	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	103	-	-	14	80	1	-	-	2	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	4.12	-	-	0.88	5.00	0.06	-	-	0.13	-	-	0.80	0.20	-	-	-	-	-	-
南 部	報告数	65	1	-	5	55	-	-	-	1	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	9.29	0.25	-	1.25	13.75	-	-	-	0.25	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
川 越 市	報告数	71	-	2	1	45	-	-	-	2	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	5.46	-	0.25	0.13	5.63	-	-	-	0.25	-	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	78	-	-	1	21	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
	定点当たり	6.00	-	-	0.13	2.63	-	-	-	0.50	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	1.00
川 口 市	報告数	94	-	1	2	244	-	2	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	4.70	-	0.08	0.15	18.77	-	0.15	-	0.38	-	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-
さいたま市	報告数	225	-	-	2	288	-	2	-	5	-	-	-	1	-	1	-	-	-	3
	定点当たり	5.77	-	-	0.08	11.52	-	0.08	-	0.20	-	-	-	0.13	-	1.00	-	-	-	3.00

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

1月 18日

9:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第2週

1月9日~1月15日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~	
インフルエンザ #1	1,277	7	4	33	46	68	77	90	81	73	60	63	223	118	143	77	45	48	13	4	4	
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~							
RSウイルス感染症	9	3	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
咽頭結膜熱	10	-	2	2	1	-	3	-	-	-	-	-	1	1	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	-	-	3	3	5	3	4	3	5	1	3	5	-	1							
感染性胃腸炎	1,471	6	85	266	250	155	133	116	97	57	43	34	93	26	110							
水痘	13	-	-	-	1	1	2	1	1	-	3	2	2	-	-							
手足口病	6	-	1	1	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-							
伝染性紅斑	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
突発性発しん	41	1	6	25	6	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
流行性耳下腺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-							
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~		
急性出血性結膜炎	4	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~					
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-					
無菌性髄膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-					
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
インフルエンザ(入院)	5	-	1	1	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-					

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第51週 (12月19日～12月25日)

令和5年1月18日

## <全国情報>

**インフルエンザ:** 定点当たり報告数は第48週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は富山県(4.21)、沖縄県(2.91)、神奈川県(2.79)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は35例と前週と比較して増加した。都道府県別では16都道府県から報告があり、年齢別では0歳(1例)、1～9歳(11例)、10代(2例)、20代(6例)、30代(1例)、50代(1例)、60代(3例)、70代(2例)、80歳以上(8例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):** RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福島県(2.58)、山形県(1.59)、宮城県(1.28)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.70)、鹿児島県(0.52)、北海道(0.46)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は長崎県(2.34)、福岡県(1.50)、鳥取県(1.26)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第48週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は福井県(15.04)、東京都(10.62)、埼玉県(10.50)である。手足口病の定点当たり報告数は第37週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は石川県(1.17)、佐賀県(1.17)、奈良県(1.06)、熊本県(0.86)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は群馬県(0.06)、京都府(0.05)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第48週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は熊本県(0.62)、鹿児島県(0.59)、宮崎県(0.42)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は徳島県(0.09)、山形県(0.07)、鹿児島県(0.07)である。

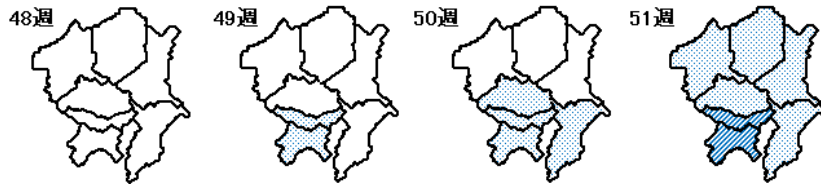
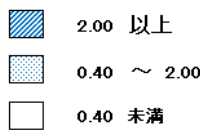
**基幹定点報告疾患:** マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は宮城県(0.25)、茨城県(0.25)、青森県(0.17)、佐賀県(0.17)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。2都道府県から2例報告があり、年齢別では1～4歳(1例)、5～9歳(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan2022年第51週(12月19日～12月25日)、2022年第52週(12月26日～1月1日):通巻第24巻第51・52合併号より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、神奈川県(2.79)、東京都(2.30)からの報告が多い。

### インフルエンザ



2022年 51週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	6,103	2,649	51	41	90	308	236	939	984
	定点当たり	1.24	1.76	0.43	0.54	1.05	1.23	1.15	2.30	2.79
RSウイルス感染症	報告数	1,257	212	23	24	41	31	24	31	38
	定点当たり	0.40	0.22	0.31	0.50	0.77	0.19	0.18	0.12	0.17
咽頭結膜熱	報告数	587	136	9	3	10	28	18	51	17
	定点当たり	0.19	0.14	0.12	0.06	0.19	0.18	0.14	0.20	0.08
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	1,177	243	27	9	6	44	33	50	74
	定点当たり	0.37	0.26	0.36	0.19	0.11	0.28	0.25	0.19	0.33
感染性胃腸炎	報告数	17,619	7,798	338	122	297	1,670	999	2,761	1,611
	定点当たり	5.60	8.21	4.51	2.54	5.60	10.50	7.68	10.62	7.16
水痘	報告数	323	99	9	2	3	24	10	22	29
	定点当たり	0.10	0.10	0.12	0.04	0.06	0.15	0.08	0.08	0.13
手足口病	報告数	911	104	1	5	-	7	17	38	36
	定点当たり	0.29	0.11	0.01	0.10	-	0.04	0.13	0.15	0.16
伝染性紅斑	報告数	31	10	1	-	3	2	-	3	1
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	-	0.06	0.01	-	0.01	0.00
突発性発疹	報告数	678	204	6	13	20	37	22	53	53
	定点当たり	0.22	0.21	0.08	0.27	0.38	0.23	0.17	0.20	0.24
ヘルパンギーナ	報告数	324	25	3	-	2	2	5	8	5
	定点当たり	0.10	0.03	0.04	-	0.04	0.01	0.04	0.03	0.02
流行性耳下腺炎	報告数	97	36	-	1	2	8	6	11	8
	定点当たり	0.03	0.04	-	0.02	0.04	0.05	0.05	0.04	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	11	7	-	-	-	7	-	-	-
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	-	0.17	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	165	72	9	4	2	4	8	6	39
	定点当たり	0.24	0.35	0.50	0.33	0.15	0.10	0.24	0.16	0.76
細菌性髄膜炎 #2	報告数	5	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	-	0.08
無菌性髄膜炎	報告数	4	1	-	1	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.14	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	15	4	3	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.03	0.05	0.25	-	-	-	0.11	-	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--:0.00)

# 全国・関東情報

第52週 (12月26日～1月1日)

令和5年1月18日

## <全国情報>

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は第48週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(9.89)、富山県(5.96)、福岡県(4.19)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は61例と前週と比較して増加した。都道府県別では19都道府県から報告があり、年齢別では0歳(7例)、1～9歳(20例)、10代(4例)、20代(7例)、30代(1例)、40代(2例)、50代(2例)、60代(3例)、70代(3例)、80歳以上(12例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの)**: RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福島県(1.72)、宮城県(0.83)、山梨県(0.67)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.57)、福島県(0.34)、富山県(0.34)、鹿児島県(0.33)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は長崎県(1.50)、鳥取県(1.11)、福岡県(0.76)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(9.78)、大分県(7.44)、東京都(7.14)である。手足口病の定点当たり報告数は第37週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は奈良県(0.82)、沖縄県(0.76)、石川県(0.72)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は群馬県(0.06)、秋田県(0.03)、和歌山県(0.03)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第48週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.39)、福岡県(0.38)、沖縄県(0.27)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は石川県(0.07)、香川県(0.07)、埼玉県(0.06)、愛媛県(0.05)である。

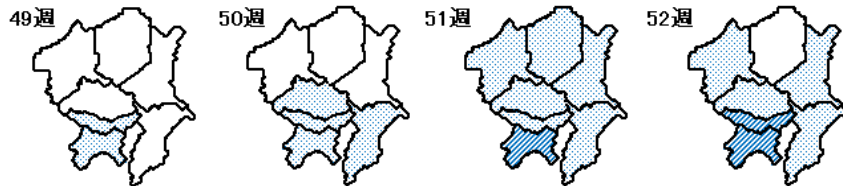
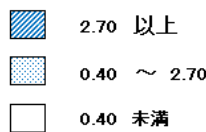
**基幹定点報告疾患**: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では青森県(0.33)、岐阜県(0.20)、茨城県(0.17)、島根県(0.13)、新潟県(0.08)、東京都(0.04)から報告があった。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は2週連続で増加した。3都道府県から3例報告があり、年齢別では1～4歳(1例)、5～9歳(1例)、10代(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2022年第51週(12月19日～12月25日)、2022年第52週(12月26日～1月1日): 通巻第24巻第51・52合併号より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、神奈川県(3.70)、東京都(2.94)からの報告が多い。

### インフルエンザ



2022年 52週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	9,768	3,409	159	23	135	467	1,063	1,131
	定点当たり	2.05	2.54	1.33	0.30	1.57	2.08	2.94	3.70
RSウイルス感染症	報告数	852	117	16	6	27	15	10	34
	定点当たり	0.28	0.14	0.21	0.13	0.51	0.11	0.09	0.17
咽頭結膜熱	報告数	404	74	8	2	9	12	5	15
	定点当たり	0.13	0.09	0.11	0.04	0.17	0.09	0.05	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	765	171	16	10	4	40	12	50
	定点当たり	0.25	0.20	0.21	0.21	0.08	0.29	0.11	0.25
感染性胃腸炎	報告数	12,426	4,677	265	74	203	843	635	994
	定点当たり	4.08	5.46	3.53	1.54	3.83	6.06	5.93	4.92
水痘	報告数	217	71	2	1	5	17	14	8
	定点当たり	0.07	0.08	0.03	0.02	0.09	0.12	0.13	0.04
手足口病	報告数	532	50	1	2	1	8	2	17
	定点当たり	0.17	0.06	0.01	0.04	0.02	0.06	0.02	0.08
伝染性紅斑	報告数	20	6	1	-	3	1	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	-	0.06	0.01	-	0.00
突発性発疹	報告数	517	119	1	8	12	29	9	29
	定点当たり	0.17	0.14	0.01	0.17	0.23	0.21	0.08	0.13
ヘルパンギーナ	報告数	198	14	-	-	-	2	1	1
	定点当たり	0.06	0.02	-	-	-	0.01	0.01	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	53	22	-	1	2	9	1	4
	定点当たり	0.02	0.03	-	0.02	0.04	0.06	0.01	0.02
急性出血性結膜炎	報告数	4	3	-	-	-	3	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	0.09	-	-
流行性角結膜炎	報告数	100	40	7	2	1	1	5	21
	定点当たり	0.15	0.22	0.39	0.17	0.08	0.03	0.16	0.49
細菌性髄膜炎 #2	報告数	2	1	-	-	-	1	-	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	0.09	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	7	2	-	-	-	-	1	1
	定点当たり	0.01	0.02	-	-	-	-	0.11	0.04
マイコプラズマ肺炎	報告数	8	3	2	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.04	0.17	-	-	-	-	0.04
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	1	-	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	0.11	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--:0.00)



## インフルエンザ(2022/23 シーズン)

インフルエンザの定点当たり報告数は、2022 年第 51 週(12 月 19 日～25 日)に 1.22 となり、流行期の基準である 1.0 を超えました。流行期に入ったのは 3 年ぶりとなります。

病原体サーベイランスでは、2023 年 1 月 16 日時点で 27 件のインフルエンザウイルスが検出され、その内訳は AH3 が 25 件、B 型ビクトリア系統が 2 件となっています(図 1)。

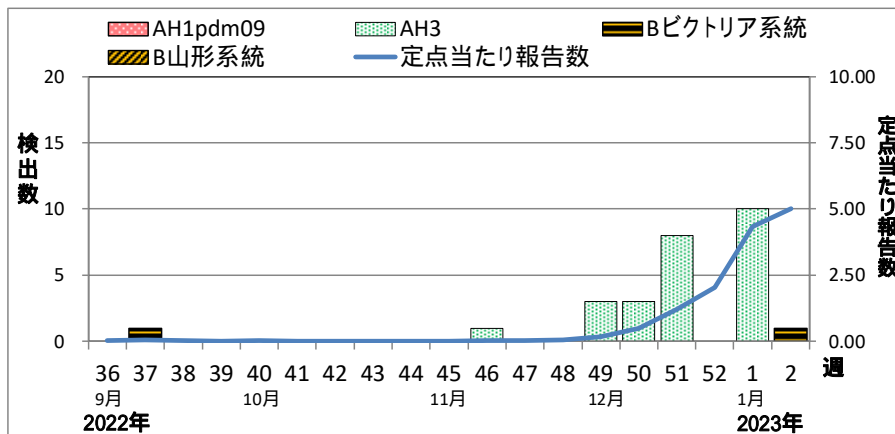


図 1 インフルエンザウイルス検出数 (2022/23 シーズン)

過去のシーズンを振り返ると、定点当たり報告数が 80 を超える大きな流行となった 2018/19 シーズンは、流行初期は AH1pdm09、年明けからは AH3 が多く検出され、流行終期は B 型ビクトリア系統が検出されました。また、新型コロナウイルス感染症が出現したシーズンである 2019/20 シーズンは、AH1pdm09 が多く検出され、流行終期に B 型ビクトリア系統が検出されました(図 2)。

なお、2020/21 シーズン及び 2021/22 シーズンは全国、県内ともインフルエンザの流行がなく、埼玉県でのインフルエンザウイルス検出は 2 件(2021/22 シーズン)のみでした。

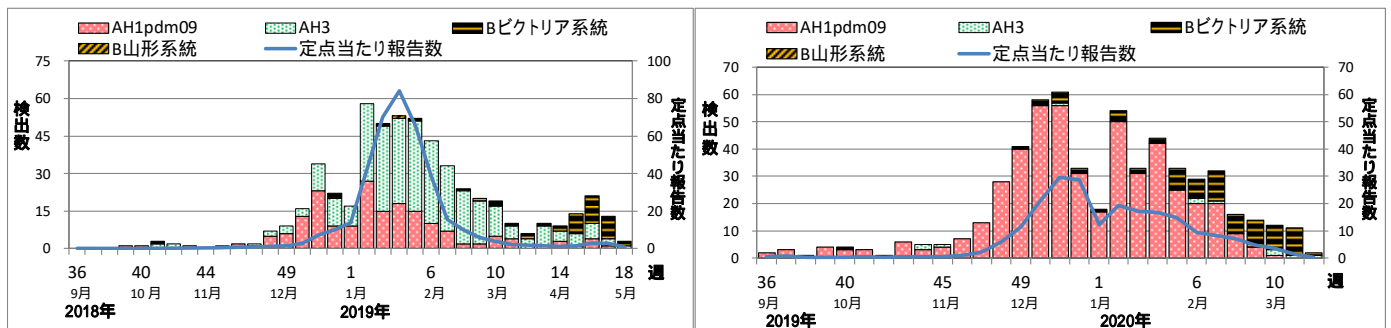


図 2 インフルエンザウイルス検出数 (2018/19 シーズン及び 2019/20 シーズン)

インフルエンザの拡大や新型コロナウイルス感染症との同時流行が懸念されております。指定提出機関の先生方には、流行ウイルスの把握のため引き続き検体採取にご協力をお願いいたします。

感染症発生動向調査  
2023年

▶ 感染症の流行状況 2023年  
第1週

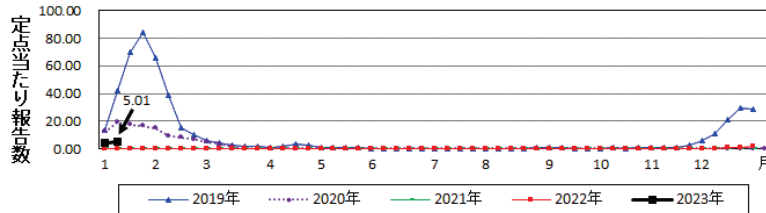
## 感染症の流行状況 2023年 第2週

2023年第2週（1月9日～1月15日）の要点 令和5年1月18日

インフルエンザの定点当たり報告数は、前週よりやや増加しました。外出後の手洗い・うがいととも、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

- ・ [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- ・ [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)に関する情報の掲載ページへ](#)

インフルエンザ(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↑	★★	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	→	★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	↑	★★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★
<a href="#">手足口病</a>	→	★			

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン